

項目	5 南アルプスの魅力を次世代につなぐ取組について
答弁者	知事
質問要旨	<p>県は、昨年度から南アルプスの自然環境の保全と魅力発信の取組を強化している。</p> <p>南アルプスは、貴重な動植物をはじめ豊かな生態系を有しており、この価値を知っていただくためには、実際に足を運び体験するのが一番効果的であるが、アクセスが不便であるため、北アルプスに比べて登山者も少ないと聞いている。</p> <p>世界の宝である南アルプスの自然環境をより良い形で未来に繋いでいくことを目的として令和3年7月に「南アルプスを未来につなぐ会」が設立された。</p> <p>私も、その趣旨に賛同し入会し、より多くの方に会員になっていただくため、会員募集の情報発信を行っている。</p> <p>南アルプスの自然環境を次世代に引き継ぐためには、県民の理解と参画が不可欠と考えるが、残念ながらまだまだその認知度が低いのではないかと考える。</p> <p>南アルプスを子ども達に身近に感じてもらえるような取組が必要であり、まずは知ってもらい、認知度を高めていくことが大切ではないかと考える。</p> <p>南アルプスの魅力を次代を担う子ども達に伝えていくための県の取組と今後の展開について伺う。</p>

<答弁内容>

伊藤議員にお答えいたします。南アルプスの魅力を次世代につなぐ取組についてであります。

ユネスコエコパークに登録されている南アルプスは、世界の南限とされるライチョウあるいはハイマツなどの動植物、あるいは氷河期からの遺存種であるタカネマンテマなど、守るべき希少な生態系が残る「世界の宝」であります。これを次世代に確実に引き継いでいくことは、今を生きる私達の責務であります。

県では、多くの方に南アルプスの持つ魅力を伝え、身近に感じていただけるように、ユーチューブなどのSNSを活用し、ドローンによる高画質の映像や、あるいは有識者による動植物、地質などに関する講座の配信などを行っているところであります。

認知度を上げる取組に当たりましては、特に次代を担う子供への理解を広げていくことが大変重要であると考えます。県では、絶滅の危機にある高山植物の種子増殖を高校生が担う「高山植物種子保存プロジェクト」を開始いたしました。また、「南アルプスを未来につなぐ会」のイベントに高校生を招き、南アルプスの将来像について、会長の山極壽一先生らと想いを交わすなど、機会を設けてまいりました。

伊藤議員におかれましては、南アルプスを未来につなぐ会の会員になっていただいて、精力的に魅力を発信していただいているとのことで、頼もしく存ずる次第であり

ます。

現在、今年度中の運用開始を目指して南アルプスに関する環境学習アプリの開発を進めております。この環境学習アプリの完成後は、出前講座や学校等で活用してまいります。

このアプリの開発に当たりましては、複数の小学校、中学校、高等学校の授業、課外活動で御協力を賜りまして、そこで得た知見を盛り込むなど、教育現場の声を反映したものとなるよう取組を進めております。

さらに、南アルプスの登山者の拠点である樫島などにおきまして、体験学習などを提供し、子供たちの環境学習の拠点としても機能するよう、体制を整えてまいります。

私どもといたしましては、次代を担う子供たちに南アルプスの素晴らしさを伝え、南アルプスの自然環境がより良い形で引き継がれるように努めてまいりたいと考えております。

その他の御質問につきましては、副知事、関係部局長から御答弁を申し上げます。